



2011.3.11 東日本大震災

現地支援委員会

from 東北

ニュースレター

「第41号」

2021年1月20日

全国諸教会・伝道所の皆様、日頃からお支えと励ましをありがとうございます。今号では、支援地でのクリスマスの様子をお届けします。なお、今年3月に「東日本大震災から10年 祈りとシンポジウム」をオンラインで開催します。ぜひご参加ください。

「東日本大震災から10年 祈りとシンポジウム」

◆日時：2021年3月20日(土/休)14時~16時

◆場所：ZOOMにて(詳細は後日お知らせします)

支援地での10回目のクリスマス



★2020年12月5日 大槌町支援報告

1年ぶりに大槌町訪問が実現し、クリスマスの贈り物を全国諸教会の祈りと共にお届け出来ました。当初の炊き出し支援の時から私たちと繋がりを続けて下さるNさん自ら案内役を担われ、いつも「お茶っこ」を楽しみに集まって下さっていたお一人おひとりの移転先をお訪ねしました。もちろん感染症予防対策に留意しつつ、マスク越しにお互いに距離を保ちながら12名とお会いできました。地元の方々ともなかなか会えない状況もあつてか、再会の感激に涙される方もおられました。

今回は感染症予防のアルコール消毒液、ハンドクリーム、シクラメンの花鉢、手作りクリスマスオーナメントやカードとお菓子のセットが南光台教会、盛岡教会、百合ヶ丘教会、西南学院の提供により30世帯に送られました。大槌町では特に若い世代の人口減少が3割に及び、全体では2割の方が県外へ流出。現在は約11,000名と報告されています。目下、Nさんを中心に安渡婦人会連合10名で3,000枚の手作りマスクを作成中とのこと。パプテストが関わらせて頂いた集会所のある小槌第7、第4仮設住宅は遂に解体作業に入り、エコハウスも現地での役割を果たし撤去作業が始められました。(南光台教会 田中信矢)



解体中のエコハウス



城山公園より現在の大槌町



大槌町の復興住宅訪問



お届けしたプレゼント



みんなにメリークリスマス

街ひと話題

東日本大震災の支援活動をきっかけに巨理町と交流を続ける仙台長命ヶ丘キリスト教会(仙台市泉区)が22日、同町の被災者らにクリスマスプレゼントを贈った。金丸真牧師44が、災害公営住宅で暮らす被災者やイチゴ農家など約20カ所を回り、信徒が書いたカードや神奈川県教会から寄せられた菓子などを手渡した。新型コロナウイルスの影響で訪問は1年ぶりで、互いに近況を語り合った。金丸さんは支援する側、される側ではなく、友人のような関係で続けている。「忘れていませんよ」と伝えたいと語る。教会は2011年5月に同町で支援活動を始め、仮

河北新報朝刊
2020年12月25日



イチゴハウスを訪れプレゼントを手渡す金丸牧師(左)

★2020年12月5日 牡鹿支援報告(鮎川・黒崎)

鮎川と黒崎は石巻市役所から一番遠い場所にあることも手伝って、電気や水道などのライフラインの復旧には時間がかかりました。以前の生活を取り戻すことは困難を極めました。町の土木工事本格的になってきました。港湾施設や道路が姿を現しています。



鮎川の道路工事

今回は訪問件数が少なかったため、お話をしながらゆっくり回りました。仲良しになった武田床屋さんのお連れ合いのお話です。「道路や橋は夜中に付け替えるのね。鮎川に住んでいる者でさえ、迷うことがあります。まして、外から来る人は大変だと思います。鮎川の町の完成予想図みたいなものは見せてもらったことがないので、この町がどうなっていくか不安でもあります。毎年、シクラメンを頂き恐縮しています。毎回大事に育てています。3年前のものもほら、素敵な花を咲かせています。本当にありがとうございます」。

鮎川の町の床屋さんは現在武田さんも含め2つになりました。震災当時、床屋さんがなくなると困るからと町から営業を勧められたそうです。でも年々、鮎川に住む人も減り、スーパーなどの安価な床屋さんを利用する人が増えたので、武田さんのお得意さんめっきり少なくなったと寂しそうでした。(仙台教会 向井田洋)



お届けしたシクラメン

★2020年12月5日 牡鹿支援活動(給分浜、荻浜)

今年のクリスマスは、3月まで用意して下さった花勝園さんに代わってフラワーショップ洋さんが美しく花をつけたシクラメンを届けて下さいました。給分浜でお花の仕分け後、高台住宅へお配りした際には「去年のまた咲いたよ」と喜んで下さっていて私達も嬉しくなりました。再建住宅入居後に亡くなられた方や一人暮らしが難しくなり施設に移られた方々にお会いできない事はやはり寂しさを覚え、それぞれ施設で良いケアを受けておられることを願わずにはいられませんでした。

そのような中、給分浜では一歳の時に被災した男の子が花鉢を受け取りながら「僕あさってで11歳になるんだよ、ケーキ予約してあるの」と、はずんだ声で話してくれ、お届けしたものの以上の励ましを受けました。荻浜ではちょうどカキむき作業から昼食に戻った方々とお会いすることができ、元気なご様子に安堵しました。帰途、元浦屋敷から蛇田に転居された方、また鮎川から富谷市に転居された方にもシクラメンをお届けすることができ笑顔で受け取って下さった事も感謝でした。10年を迎える3月にむけて牡鹿の方々のために共に祈り頂ければ幸いです。(大富教会 小田久代)



荻浜の江刺区長さん



月浦の相澤区長さんのお連れ合いと